

(図表43)

香美市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)第2期 評価→目的・目標・指標の確認、達成状況と判定

A(目標値に達した)
B(目標値に達していないが、改善傾向にある)
C(変わらない)
D(悪化している)
E(判定不能)

目的: 今回の計画の目的は、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の死亡を減らし、健康寿命を延伸することである。

中・長期目標(平成29年評価)

目標	対象者	指標	現状 平成28年 (データ)	平成30年 目標値	平成31年 目標値	平成32年 目標値	平成33年 目標値	平成34年 目標値	平成35年 目標値
データヘルス計画本文より	脳血管疾患患者の減少 (参考値:1件当たり30万円以上の高額レセプトにおける新規該当者の減少)	脳血管疾患患者(40~74歳) 参考値 1件当たり30万円以上の高額レセプトにおける新規該当者(前年度比較)	脳血管疾患患者の割合 (KDB厚労省様式3-6脳血管疾患のレセプト分析) 総数 6.4% 男性 7.2% 女性 5.7%	総数 6.4%未満 男性 7.2%未満 女性 5.7%未満					
	虚血性心疾患患者の減少	虚血性心疾患患者(40~74歳)	虚血性心疾患患者の割合 (KDB厚労省様式3-5虚血性心疾患のレセプト分析) 総数 7.0% 男性 7.4% 女性 6.6%	総数 7.0%未満 男性 7.4%未満 女性 6.6%未満					
	新規人工透析患者の減少	新規透析患者(うち糖尿病性腎症)	特定疾病療養受領証の新規発行数 (うち糖尿病性腎症患者数) 6人 (2人)	6人未満	6人未満	6人未満	6人未満	6人未満	6人未満

短期目標(毎年評価する)

目標	対象者	指標	現状 平成28年 (データ)	平成30年 目標値	平成31年 目標値	平成32年 目標値	平成33年 目標値	平成34年 目標値	平成35年 目標値
高血圧の改善(収縮期血圧の平均値より4mm低下させる)	特定健診受診者	収縮期血圧の平均値(mmHg) (KDB保健指導対象者一覧)	129	128.3	127.6	127	126.3	125.6	125
脂質異常(中性脂肪値)有所見者の減少	特定健診受診者	中性脂肪値の有所見者の割合 (KDB厚労省様式5-2健診有所見者状況)	男性 30.2%	29.8	29.4	男性 29.0%	28.7	28.3	男性 28%
			女性 22.3%	21.8	21.4	女性 21.0%	20.7	20.3	女性 20%
HbA1c有所見者の抑制	特定健診受診者	HbA1cの有所見者の割合 (KDB厚労省様式5-2健診有所見者状況)	男性 59.3%	58.5	57.8	男性 57.0%	56.3	55.7	男性 55.0%
			女性 62.4%	61.6	60.8	女性 60.0%	59.3	58.7	女性 58.0%
メタボリックシンドローム・予備群の減少	特定健診受診者	メタボリックシンドローム・予備群の割合 (KDB厚労省様式5-3)	男性予備群 21.7%	21.1	20.6	男性予備群 20.0%	19.2	18.5	男性予備群 17.7%
			女性予備群 8.1%	7.73	7.4	女性予備群 7.0%	6.7	6.3	女性予備群 6.0%
			男性該当者 30.4%	29.9	29.5	男性該当者 29.0%	28.1	27.3	男性該当者 26.4%
			女性該当者 15.0%	14.3	13.7	女性該当者 13.0%	12.3	11.7	女性該当者 11.0%

個別保健事業実施計画 *優先順位別に記載

事業名	目的	目標	対象者	指標	現状 平成28年 (データ)	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
					目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	
要精密者及び要医療者受診動奨	重症化予防	特定健診により、医療機関への受診が必要な者が適切な検査・治療を受けることができる	集団での特定健診で高血圧症未治療者のうちⅡ度高血圧以上の者	家庭血圧測定実施率	54.5%	70%	70%	70%	70%	70%	70%
			上記のうち家庭血圧測定結果について保健師が要受診と判断した者	受診勧奨者の医療機関受診率	自己申告15.2 レセプト36.4 (%)	90% (自己申告)	90% (自己申告)	90% (自己申告)	90% (自己申告)	90% (自己申告)	90% (自己申告)
			集団での特定健診で高血圧症未治療者のうち2年連続で血圧高値者やⅢ度高血圧以上の者	対象者の医療機関受診率	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	
			特定健診結果から抽出した要医療・前糖尿病精密・腎機能要精密となった者	対象者の医療機関受診率	自己申告56.3 レセプト46.3 (%)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	70% (自己申告)	
血管病重症化予防	重症化予防 厚生労働省「都道府県及び市町村糖尿病成人症重症化予防取り組み内容調査結果から見る糖尿病性腎症重症化予防事業の現状」P.54「実施率・受診率」より	血管病の重症化による、脳血管病発症予防と糖尿病性腎症による人工透析移行を予防・遅延できる。	高知県血管病予防ツール(未治療者・治療中断者)により抽出された対象者。HbA1c=8.4 収縮期血圧>160 eGFR<40 蛋白尿=4	対象者への受診勧奨者数	11名	100%	100%	100%	100%	100%	
			未治療者の医療機関受診率	25% (2名/8名=0.25)	33.3%	41.6%	50%	52.2%	54.4%	56.6%	
			治療中断者の医療機関受診率	33.3% (1名/3名=0.333)	33.3%	41.6%	50%	52.2%	54.4%	56.6%	
けんこう香美ングセミナー	発症予防 重症化予防	特定保健指導の終了率向上 生活習慣病などのリスクが重積している対象者自らが生活習慣の改善ができ、行動変容につなげる。	特定健診受診した40~74歳の被保険者のうち「積極支援」「動機付け支援」に階層化された者	特定保健指導終了率	14.5%	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇
特定健診受診動奨	発症予防	特定健診の受診率向上 特定健診の受診者を増やすことで、生活習慣病の重症化を防ぐ	前年度の特定健診未受診の被保険者(41~74歳)	訪問受診動奨実施者の受診率	6.1%	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇
			40歳到達者	動奨はがき発送者の受診率	-	10%	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇
特定健康診査	発症予防	内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣予防のための保健指導を必要とする被保険者を抽出する。そのことにより、生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病を予防する。	国保被保険者(40~74歳)	特定健診受診率	男性 18.1% 女性 21.0% 総数 19.3%	男性 24.0% 女性 26.6% 総数 25.3%	男性 24.0% 女性 26.6% 総数 25.3%	男性 24.0% 女性 26.6% 総数 25.3%	男性 25.0% 女性 27.6% 総数 26.3%	男性 25.5% 女性 28.1% 総数 26.8%	男性 26.0% 女性 28.6% 総数 27.3%
					42.6%	43.4%	44.2%	45.0%	45.8%	46.6%	47.4%
国保運動教室	発症予防	参加者の運動の意義の理解と運動習慣の定着をはかる。	国保被保険者(40~74歳)	教室参加者の割合	4.80%	5%以上	5%以上	5%以上	5%以上	5%以上	5%以上
					運動の意義について理解した者の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%
健診結果説明会	発症予防	生活習慣病予防のための行動(運動・食事・休養)をおこすきっかけとする。自分の健康状態を理解して、自ら生活習慣の改善に取り組める。	当該年度特定健診受診した国保被保険者(40~74歳)	参加者数	102人	102人以上	102人以上	102人以上	102人以上	102人以上	102人以上
					健診項目の基準値に対する理解度	-	100%	100%	100%	100%	100%
さよならメタボ運動教室	発症予防	特定保健指導終了後の運動の継続支援のフォローアップ教室	けんこう香美ングセミナー受講中の者及び終了者	30分×2/W以上の運動習慣の割合	49%	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少	前年度より減少
					36.2%	平成30年度に教室のあり方を再検討予定					

★事業や評価項目としていないが、データヘルス計画中に「目標とする」などの文言があるもの

事業	目的	目標	対象者	指標	現状 平成28年 (データ)	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
					目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	目標値/評価	
がん検診事業	発症予防	がん検診の受診率向上 がん・結核等の疾患を早期発見し、適正医療に結びつける。	がん検診対象者	がん検診受診率							
COPD対策	発症予防	喫煙者の割合の減少	特定健診受診者	喫煙者の割合 (KDB質問票調査の経年比較)	12.70%	12.60%	12.50%	12.40%	12.30%	12.25%	12.20%
重複多受診者対策	適正受診	受診指導を行うことにより、被保険者に対する重複多受診者の割合を減少させる。	40~74歳	被保険者に対する重複多受診者の割合	1.2% (9人/7420=0.0012)	1.2%未満	1.2%未満	1.2%未満	1.0%未満	1.0%未満	1.0%未満
後発医薬品の使用促進	医療費抑制	後発医薬品の使用割合を国が目指す目標値に近づける	0~74歳	後発医薬品の普及率	62.9% 36.7%	70%	72.0%	74.0%	76.0%	78.0%	80%